

試験日 : 2025年2月22日  
入試種別 : 大学院(修士課程)入学試験  
学部・研究科 : 政策学研究科  
科目名 : 地域・都市政策

以下の問1もしくは問2のどちらかを選択し、さらに問3に解答してください。  
(解答用紙に設問、選んだ語句の番号を記載すること)

#### ○問1、2の評価のポイント

問いに対する概念や制度の理解と、日本の地域・都市政策における展開や影響、現代的課題について、具体的な内容を踏まえて800文字以内で適切に整理されていること。

#### ○問3の評価のポイント

現代的用語の定義および国内外の事例に関して、地域・都市政策の視点から600字にまとめる文章構成力を問う設問である。

問1：ペリーの近隣住区論の概念と、日本の地域開発に与えた影響や開発後の状況、現代における課題について、800文字以内で述べてください。

#### ○解答例

近隣住区論は、自動車が増加する20世紀初頭のアメリカにおいて、良好な地域コミュニティでの暮らしの実現を目指して、クラレンス・ペリーが提唱した郊外住宅地計画の基本原則である。その概念は、半径約400m程度の範囲内に、人口5~6000人程度の居住を想定し、1. 小学校やコミュニティセンター等を核とする徒歩圏の住区構成、2. 外周に幹線道路を配置して通過交通を迂回、3. 人口規模に応じた商業施設の配置、4. 住区に応じた公園やオープンスペースの配置、5. 段階的な道路網の構成、などである。

日本では、高度経済成長期に都市部への人口移動・集中が進む中で、都市近郊の住宅不足に対応するために、近隣住区論を参照したニュータウン開発が大都市圏を中心に進められた。小学校区を基礎とする住区構成や公園や緑地などが確保された良好な住環境により、同時期に居住を開始した子育て世代を中心に、地域活動等も盛んに行われ地域コミュニティの形成に寄与した。また、都市公園法における街区・近隣・地区公園の配置計画も、近隣住区論の概念を参照している。

しかし、計画的に配置された商業施設は、モータリゼーションの進展やライフスタイルの変化などにより、より規模の大きい拠点施設へのニーズが高まり、画一的に配置された公園や緑地も、維持管理や利用における課題が顕在化してきた。更に、開発後4、50年を経過したニュータウンでは、人口構成が固定化していることから急速に少子高齢化が進んでおり、学校の統廃合、商業施設の衰退、建物の老朽化・空洞化等の課題が生じている。

それに対して、まちづくりビジョンなどを策定し、柔軟な建て替えやニーズに合わせた用途変更を可能にしたり、民間企業や大学・NPO・福祉事業者等と連携した施設の維持管理や利活用、高齢者・子育て支援事業を展開するなどし、多様な機能を有したニュータウン再生に向けた取り組みが進められている。

問2：我が国における大規模震災の経験を経て、地域・都市政策の視点から、改善された点、一方で現在も残された課題について、800文字以内で述べてください。

### ○解答例

我が国では、阪神・淡路大震災をはじめとする大規模震災の経験を通じて、「自助・共助・公助」を基本とする防災の考え方が社会に定着し、地域・都市政策においても大きな改善が見られてきた。阪神・淡路大震災後には防災基本計画が見直され、予防（減災・事前準備）、応急対応、復旧、復興という各段階に応じた対策が体系化されるとともに、国、地方公共団体、事業者等の役割分担が明確化された。地方公共団体においては地域防災計画の策定が進み、都市計画マスタープランとの連携を通じて、防災を考慮した都市づくりが推進されている。また、地区防災計画制度の創設により、地区の特性に応じたボトムアップ型の防災計画づくりや、地域防災力の継続的向上が図られている。

公助の面では、耐震改修促進法による建築物やインフラの耐震化、密集市街地における老朽建築物除却支援、防災街区整備の推進など、ハード面の対策が強化された。さらに、被災市街地復興促進地域の指定を通じて、区画整理や再開発事業による面的整備、住宅再建施策が展開されてきた。東日本大震災後には津波防災地域づくり法が制定され、浸水想定区域での土地利用規制や避難対策の徹底、立地適正化計画における災害リスクを踏まえた都市構造再編が進められている。

一方で課題としては、自主防災組織の多くが町内会など既存の地縁組織に依存しており、加入率低下や担い手不足の中で、非常時に十分な共助機能を発揮できるかが懸念される。また、復興過程では都市機能の再生が優先され、生活や地域コミュニティ、地域産業への配慮や合意形成が不十分となる事例も見られる。

今後は、ハード対策に加え、日常的な備えや人材・組織を含むソフト面の充実、さらに気候変動による風水害や大規模火災等も想定した広域的・分野横断的な対応が求められる。

問3. 次の語句から1つ選び、国内外の地域・都市政策について、具体的な事例を交えて、600文字以内で説明してください。

(1) オーバーツーリズム

(2) ジェントリフィケーション

(3) レジリエンス

(4) コミュニティデザイン

(5) エリアマネジメント

(6) シェアリングエコノミー